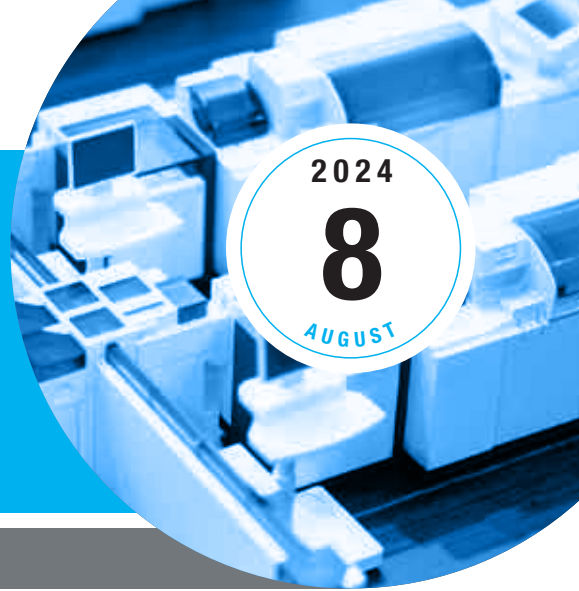


Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 渉外部門活動について 1
- 定時総会を終えて 2
- 学術奨励賞を受賞して 3
- 特別講演会に参加して 4
- 地区だより(東三河) 5
- 会員執筆物の紹介原稿募集 ... 5
- 講演会、研究会 6
- 令和6年度 中部圏支部
臨床微生物部門研修会 7
- 令和6年度 タスク・シフト講習会
後期について 7
- 愛臨技 HP 求人情報掲載について
..... 7
- メールアドレス登録のお願い ... 7
- 春日井健康救急フェスティバル
開催案内 8
- 第62回日臨技中部圏支部
医学検査学会 事前参加登録 ... 9
- 令和6・7年度 公益社団法人
愛知臨床検査技師会 役員... 10

2024年7月1日現在 正会員数 3,882名

臨床検査技師の将来について みんなで考えないと…

副会長(渉外部門担当) 刑部 恵介

渉外部門担当副会長2期目の刑部です。今回は普段大学に勤める身として感じることを紹介させていただきます。以前から「2050年には日本の人口は4分の3になる」と言われていますが、少し遠い未来な気がする文言として捉えていませんか？

東海4県の18歳人口は7年前では約147,700名、今年度は約137,300名そして7年後は約127,000名と減少が進んでいます。そして大学広報の一環として高校へ模擬講義に行きますが、医療系希望は1学年で15名程度で、その多くは看護師希望で臨床検査技師の希望者は1、2名程度なのが現状です。このような現状の中で東海4県には臨床検査技師養成機関は国立1校、私立7校もあり、大学として定員数を確保するのも大変な時代に突入しています。ここまで聞くと“大学は大変だなあ…”と対岸の火事的な感想を持たれるかもしれません。しかしこの18歳人口の減少は教育機関だけの問題ではありません。養成機関に人が集まらなければ、未来の臨床検査技師が減るということです。延いては求人を出しても受験する人材がいなくなることを意味します。

これを回避する一つの方法としてあるのは“臨床検査技師の認知度アップ”です。模擬講義の中で“臨床検査技師を知っている人？”と聞くと数名の手があがり、“臨床検査技師に会ったことがある人？”と聞くと手は下がります。そこで“学校の健診などで心電図とったことがある人？”と聞くと、ほぼ全員の手が上がります。“その検査をしたのが検査技師ですよ”と説明すると驚かれます。つまり、我々技師は一般の方に出会っているのにも関わらず認知されていません。ですから皆さんの職場で“臨床検査技師”といった名称を目に触れるようにしていくことが“認知度アップ”の第一歩になると思います。特に健診では多くの方に知ってもらいたい機会だと思います。もちろん我々技師会も組織部活動として“春日井市健康救急フェスティバル(9月)”や“検査と健康展(11月)”など県民の皆さんに臨床検査技師を知ってもらおうイベントを毎年行っております。

会員も皆さんも普段から業務に追われる毎日を過ごされていると思いますが、将来を見据えて技師会活動への参加や各施設単位での認知度アップの事業を展開して頂けると幸いです。みんなで“臨床検査技師”の将来のために一緒に活動しましょう！

本文中に一部誤植があり修正しました。



令和6年度定時総会を終えて

(前)庶務部長 柴田 典子



去る令和6年6月16日(日)午前9時30分より、TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口 3階カペラにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会 令和6年度定時総会を開催いたしました。

はじめに藤田会長より、会員数が3,800名を超え、東京・神奈川・大阪に次ぐ会員数の多い技師会であり、タスク・シフト/シェア厚生労働大臣指定講習会も多数開催し全国でもトップクラスの受講者数であるなど活発な活動を継続するためにこの総会で審議をお願いしたいとの挨拶がありました。

次いで議長に冨田基嗣技師(社会医療法人宏潤会 大同病院)が選出され、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長から正会員数3,817名(令和6年5月1日現在会員数)のところ会場出席者数107名、事前議決権行使による出席1,986名の合計2,093名の過半数を超えた出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項の、第1号議案「令和5年度事業報告」、第2号議案「令和5年度決算報告」の両議案はともに賛成多数で承認されました。第3号議案では、理事21名および監事2名について審議いただき、賛成多数で全員承認されました。報告事項として、「令和6年度事業計画」、「令和6年度収支予算」についての報告がされました。なお、参加会員および事前議決権行使者の方からのご意見・ご要望があり、藤田会長より回答をさせていただきました(いただいたご意見・ご要望および回答内容については愛臨技 HP 会員ページ内のお知らせに掲載してありますのでご覧ください)。引き続き執り行いました表彰式では第22回学術奨励賞2名、特別賞1名、功労者表彰4名、永年職務精励者として44名の方が受賞されました。おめでとうございます。

定時総会は技師会活動を会員の皆様に検証・審議していただき、ご意見ご要望を直接伝えていただく機会です。是非とも来年度は多くの会員の皆様に足を運んでいただけることを願っております。今後の愛臨技活動にご協力をお願いいたします。



第22回愛知県医学検査学会学術奨励賞を受賞して

関 悠里

藤田医科大学病院 臨床検査部

この度は学術奨励賞に選出いただき、大変光栄に思います。

初めての学会発表、初めての論文執筆であり、抄録の書き方から発表の流れ、論文構成とこれまで手厚くご指導いただきました先生方、査読者の皆さまに深く感謝申し上げます。

今回受賞の対象となった論文は、WNR スキャッタグラム白血球数がデブリスの影響を受け、偽高値になってしまうという内容でした。自動分析装置を用いた結果報告が主流となっている今、どの施設でも起こりうる事象と考えられます。CBC測定のみの際に“WBC Abn Scattergram”のフラグメッセージが出力された場合、Reflex機能を用いてWDFでの再測定を実施する設定変更をすることで、精度の高い白血球数の結果報告に寄与できると考えます。この論文を通じて、施設の規模に関わらず、誰でも対応可能な方法の一つとして他施設の方々にも知っていただける機会になれば幸いです。

今回の論文執筆の経験、受賞を励みに今後も精進して参りたいと思います。

伊藤明日香

社会医療法人 名古屋記念財団
新生会第一病院 臨床検査科

この度は、第22回愛知県医学検査学会学術奨励賞に選出していただき、大変光栄に存じます。藤田会長はじめ愛臨技理事の先生方、選考委員の先生方、学会関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。

当院は、病床数144床(一般病床48床、療養病床96床)、透析ベッド数100床を有する亜急性期病院です。透析医療の充実、地域の回復期機能を担う病院としての役割、さらに全身管理の卓越した透析病院を目標に掲げ、スキン・フットケアを始め、高齢者医療に対し、フレイル・口腔機能低下症・認知機能対策、緩和医療の充実、運動機能評価入院の導入など、医療体制や地域医療におけるニーズの変化に病院全体で取り組み、改革を行ってきました。

今回の発表は、その改革の一環であるスキン・フットケアチームの立ち上げの経緯から、チームでの臨床検査技師の役割や取り組みを報告しました。チーム医療に積極的に参加したことで、今回の受賞に繋がったと考えています。また、施設や検査室の規模、経営形態などによっても、チーム医療における関わり方は様々だと思います。病院機能を担う検査室として、臨床検査技師に求める役割を認識し、柔軟に対応することで、臨床検査技師もチーム医療の中で活躍できることを実感しました。新たなチーム医療への参画において、参考になれば幸いです。



令和6年度愛知県臨床検査技師会 「特別講演会」に参加して

名古屋市立大学病院 畑 七奈子

令和6年度愛知県臨床検査技師会定時総会終了後に「技師会としての能登半島震災支援の取り組み(DVT 検診)」を内容とした特別講演会が開催されました。令和6年度能登半島地震の支援活動として2月4日(日)のDVT(深部静脈血栓症)検診に参加された刈谷豊田総合病院 鈴木雅大技師から、多くの写真とともに被災地の様子や支援の内容を拝聴することができました。長時間かけて支援地に向かう途中のトイレ事情など、災害支援における課題も身近に感じることができました。また、今後の活動方法についても、質疑応答を通して新たな知見を得ることができました。

支援当日、検査機器や道具はダンボール箱に梱包された状態で支援者と一緒に車で支援地まで運ばれました。現地で梱包を開封し、マニュアルを基に機器操作を習得しなければならなかったため、検査開始までに時間がかかり支援活動の時間が少なくなってしまったとのこと。支援者は当日まである程度の時間的な余裕があるため、使用する機器や道具の情報収集・習熟ができたのではないかとした意見など、実体験に基づく改善に向けたお話がありました。また、現地で初めて顔を合わせた方々がチームとなっ

て支援に当たったため、こちらも事前に顔合わせもしくは連絡などが取れていれば、緊張が解れた状態で効果的に支援に臨むことができたのではないかとのことでした。講演を拝聴するまでは、被災された方々だけでなく支援に赴いた方々の肉体的・精神的な負担が心配でしたが、皆さん元気に活動されたとのこと、安堵するとともに頭が下がる思いでした。

特別講演会に参加して、多くの方々による支援活動を知ることができました。有事の際でもより良い臨床検査の提供ができるよう、日々の学びと協同を深めたいと思いました。支援に参加された愛臨技会員の方々、調整を行って下さった愛臨技および関係者の皆様へ感謝を申し上げます。

最後になりますが、被災地の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。





渥美病院の起源は、昭和10年に住民の出資により開設された広域医療利用組合として設立され、昭和23年にJA 愛知厚生連の傘下となりました。その後、増改築を繰り返し、平成12年に現在の場所に316床の総合病院として新築移転しました。現在は地域包括ケア病棟や療養病棟を開設し、急性期から回復期、慢性期まで支える地域密着型の病院を目指しています。私自身、平成10年に入職し病院移転など様々な経験をしてきました。「地域と共に、地域医療を守り抜く」を実践するべく、今後も職員一丸となり地域医療に貢献してまいります。

●田原市の紹介

田原市は愛知県の南端に位置し、三方を海に囲まれた自然豊かなまちです。常春な環境を活かしたキャベツやブロッコリーなどの栽培や“日本一の花のまち”と自負するように花の栽培も非常に盛んです。

春は菜の花まつりやイチゴ狩り、夏はメロン狩りに沢山の観光客が来られます。



また、世界的なサーフィン大会やトライアスロン、駅伝大会も開催されます。

そんなイベント満載の渥美半島に是非お立ち寄りください。



会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP

講演会

生殖医学検査研究班

専門教科：20点
日時：9月7日(土) 14:30～16:30
参加方法：日臨技 HP から事前登録
8月7日(水)～9月7日(土)
定員：30名
参加費用：なし
場所：岩倉市生涯学習センター会議室3・4
テーマ：
① Q & A ～素朴な疑問にお答えします～
② 調節卵巣刺激について

講師：
① 八千代病院 竹中 美保子
② JA 愛知厚生連 江南厚生病院 産婦人科代表部長
松川 泰
司会：JA 愛知厚生連 江南厚生病院 伊藤 康生
内容：①恒例となりました前回の研究会にて回収した質問に Q & A 方式で詳しくお答えさせていただく企画になっています。②体外受精の重要なステップとなる調節卵巣刺激について生殖医療専門医である松川先生より講演していただきます。この機会に理解を深めていただければと思います。事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点
日時：9月7日(土) 14:00～17:00
参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
8月8日(木)～9月7日(土)
定員：120名
参加費用：なし
場所：JA あいちビル 14階大会議室
テーマ：よりよい微生物検査のための検査プロセスを考える
—後編—

講師：
1. 正しく活用できる同定検査技術を知る
藤田医科大学岡崎医療センター 松野 貴洋
2. 理解していますか？薬剤感受性検査
日本海員救済会名古屋掖済会病院 三谷 有生
3. 薬剤耐性菌を極める 愛知医科大学病院 坂梨 大輔
4. どこまでやるか？同定・感受性検査で求められるモノ
JA 愛知厚生連安城更生病院 杉浦 康行

司会：JA 愛知厚生連江南厚生病院 河内 誠
内容：2024年度は「検査技術と業務構築を再考する」をテーマに研究会を開催します。今回は、その第3弾として検査プロセスに焦点を絞り、同定検査・薬剤感受性検査・薬剤耐性菌検査について講義を行います。よりよい微生物検査実施のために日常検査を学びなおし、また見直すきっかけになれば幸いです。
開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達し次第締め切りとなります。また資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

輸血検査研究班

専門教科：20点
日時：9月14日(土) 15:00～18:00
参加方法：日臨技 HP から事前登録
8月1日(木)～9月14日(土)
定員：50名
参加費用：なし
場所：名古屋市立大学病院 中央診療棟3階 大ホール
テーマ：「輸血症例検討会～みんなで考えよう！
症例を通して学ぶ最適解～」

講師：
1. 血液型検査編 豊川市民病院 沖松 秀美
2. 不規則抗体検査編
日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 加藤 静帆
3. 緊急輸血編 社会医療法人宏潤会 大同病院 稲生千絵美
司会：藤田医科大学 松浦 秀哲
内容：日常業務の中で遭遇する問題点に対して、考え方や解決方法、医師への報告内容等について最適解を参加者全員で一緒に考えていく聴講者参加型の輸血症例検討会となっています。
実践対応能力を高める絶好の機会です。輸血業務経験の浅い方はもちろん、指導的立場の方にとっても学びを得られる研究会です。多くのご参加をお待ちしております。
※事前参加登録無しでの当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前登録者優先となり、当日参加をお断りする場合がございます。

生理検査研究班

専門教科：20点
日時：9月21日(土) 15:00～17:00
参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
定員：120名
参加費用：なし
場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
研修ホール
テーマ：「呼吸機能検査の新人教育&患者指導
～ VC・FVC・FRC・DLco～」

講師：
1. 「新人教育に使える！専門知識とたのしい雑談」
国家公務員共済組合連合会 名城病院 及川 和紀
2. 「声掛け術で患者を操れ～検査失敗を無くす～」
トヨタ記念病院 鍋谷 洋介
司会：名古屋大学医学部附属病院 藤澤 嘉朗
内容：今回は、新人や実習生への教育および患者への指導といった内容が中心となっています。新人からベテランまで幅広く役に立つ内容となっているので、多くの方の参加をお待ちしております。また、事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しています。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

令和6年度 日臨技中部圏支部研修会 「臨床微生物部門研修会」開催案内

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部 担当：富山県臨床検査技師会

【テーマ】「事例から学ぶ微生物検査のピットフォール
ー日常検査に潜むリスクからトラブルシューティングまでー」

【日時】令和6年9月28日(土) 13:00~18:00

【参加方法】日臨技 HP から事前参加登録 7月1日(月)~8月18日(日)

【場所】富山地方鉄道地鉄ビル5階 佐伯記念ホール

【定員】80名

【受講料】会員5,000円 非会員8,000円(税込)

【申込方法】日臨技 HP 内 JAMT 会員専用ページからの事前登録

事務局：厚生連高岡病院 臨床検査部 浦田 孝之

Email：urata02279@kouseiren-ta.or.jp

令和6年度 タスク・シフト／シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会開催予定(後期)

令和6年度の後期については下記の日程を予定しております。

11月17日(日) 藤田医科大学

12月22日(日) 藤田医科大学

12月22日(日) 名古屋医療センター

1月19日(日) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)

2月 2日(日) 藤田医科大学

以上の日程を予定しておりますが日程が変更・中止となる可能性があります。

募集開始は2か月前の同日0時受付開始です。

WEBによる基礎講習を修了していないと受講受付されませんので、積極的に基礎講習を受講しておいてください。なお、本事業は令和7年度で終了予定です。

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いいたします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いいたします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp



愛知県臨床検査技師会では、春日井市において開催される「健康救急フェスティバル」に毎年参加しています。今年は「何がみえるかな？（臨床検査技師さんのおしごと）」と題し、市民の皆さまに病院の検査を知って頂くとともに健康意識の向上を目的にブースを出展致します。当日は多くの団体により健康チェックや体験・展示など様々な企画が催されます。

また、今年は9月1日「防災の日」に開催されることもあり、日頃の備えと健康の関連性を考えるブースなどもございます。是非みなさまも足をお運びください。



- 日 時：9月1日(日) 10:00~14:30
- 会 場：春日井市役所、文化フォーラム春日井
- 参加内容：子供向け体験ブース「エコ体験、血液細胞の観察」
- 主 催：春日井市
- 共 催：一般社団法人 春日井市医師会
 一般社団法人 春日井市歯科医師会
 一般社団法人 春日井市薬剤師会





事前参加登録期間

令和6年(2024年)
8月15日(木)~
9月30日(月)

令和6年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会(第62回)

会期 令和6年(2024年)
11月2日(土)・3日(日)

会場 名古屋国際会議場
名古屋市熱田区熱田西町1番1号

学 会 長: 藤田 孝 (中部大学)
副 学 会 長: 夏目 久美子 (岡崎市民病院)
刑部 恵介 (藤田医科大学)
実行委員長: 内田 一豊 (豊橋市民病院)
事務局 長: 和出 弘章 (トヨタ記念病院)



chubu62-aichi.com



主催: 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部

担当: 公益社団法人 愛知県臨床検査技師会



令和6・7年度

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 役員



会長
藤田 孝



総務部門副会長
石神 弘子



学術部門副会長
内田 一豊



渉外部門副会長
刑部 恵介



庶務部長
小木曾 美紀



会計部長
塚本 実奈子



学術部長
神野 洋彰



精度管理事業部長
齊藤 翠



組織部長
和出 弘章



広報部長
大野 善史



庶務部担当
藤田 京子



学術部担当
杉浦 康行



学術部 AiCLS
笹木 優賢



組織部担当
田中 浩一



尾張西
伊藤 保博



尾張北
木村 圭祐



尾張東
羽佐田 香代



尾張南
川村 辰也



知多
坂野 俊和



西三河
西垣 亮



東三河
長谷川 正和



監事
山崎 正夫



監事
岡田 元



顧問
中根 生弥